

## 4

# 栗駒山の命豊かなブナの森

## ～人のくらしと自然のつながりを知る～

主催団体	くりこま高原自然学校 連絡先：〒989-5371 栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1 担当者：塚原 俊也 ☎ : 0228-46-2626 e-mail : kouei@kurikomans.com URL : <a href="http://kurikomans.com/">http://kurikomans.com/</a>	
体験活動	・くりこま高原自然学校敷地内のブナの2次林を歩き、自然の多様性を知る。 ・バイオマスエネルギー利用をベースとした循環の暮らしを考える。	
ねらい	・ブナの森の多様性や自然環境と自分の命がつながっていることを知る。 ・身近なエネルギーの存在を実感する。	
時間	90分 (45分×2)	
対象学年	小学4年生～6年生	
関連教科等	4年生 社会 : 水はどこから 5年生 社会 : わたしたちの生活と森林 6年生 理科 : 生き物のくらしと環境	5年生 社会 : これからの工業生産とわたしたち 6年生 理科 : 地球に生きる
対象人数	1クラス(約30人まで)、引率教師最低2人必要	
授業形態	現地での体験活動	
場所	くりこま高原自然学校	
時期	4月～7月、9月～10月	
準備物	児童：長そで、長ズボン、雨具、帽子、筆記用具など ナタ、薪、焚き火台、ヒバサミなど	教師：子どもと同様の服装
留意事項	・季節ごとの危険生物や植物の把握と注意喚起を行います。 ・セーフティークなど安全管理の充実させて、プログラムを実施します。	
備考	学校側の要望に合わせて活動もアレンジできます。 * 薪割体験など	

## プログラムの流れ（学習指導案） 90分

学 習 活 動	時 間 (分)	主催者及び教師の役割	
		主催団体の役割	教師側の役割（最低2人）
1 授業のねらいの確認と安全事項の確認 ・自分が知っている身近な森の様子との違いを想像し、考えを共有する。	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介</li> <li>・活動内容や場所の特徴を説明し、安全のための注意を促す。</li> <li>・1日の授業の導入をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○点検と確認</li> <li>・服装、準備物を点検する。</li> <li>・児童を5人の6班、または6人の5班に分ける。</li> <li>・指導者の話を反復するなど、授業のねらいと安全事項の共有の支援を行う。</li> </ul>
2 敷地のブナ森を歩く ・気づいたこと、発見したことを記録する。	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブナの森の多様性や、そこに暮らす動物たちの様子をインタープリテーションする。</li> <li>・森と生き物の関係</li> <li>・森と水の関係</li> <li>・多様性が重要なこと</li> <li>・人と森の関係 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループ活動の支援</li> <li>・グループの様子を見守り、児童の行動、健康に注意を払う。</li> <li>・指導者の話を反復するなどの支援を行う。</li> <li>・児童とともに、活動を楽しむ。</li> </ul>
3 人の暮らしと自然のつながりを知る。	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然学校が実践しているバイオマスエネルギー利用や、人間と家畜と畑の循環の暮らしの様子を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の理解や想像を促す。</li> </ul>
4. まとめ、振り返り ・記録 ・感想発表 ・挨拶	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動について、班ごとに振り返りシートにまとめさせる。</li> <li>○班ごとに感想等を発表させる。</li> <li>・挨拶して終了する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感想が出ない場合、教師が支援に入る。</li> </ul>